

## 検証の進め方について

### 1 検証の目的

県内に甚大な被害をもたらした令和元年台風15号、19号及び21号に伴う大雨による県内の災害に対する県の対応について、県民の生命や生活を守るための対応が十分に機能したかを把握するとともに課題等を明らかにし、その経験や教訓を千葉県地域防災計画等に反映することによって、今後の防災、減災等の対策に資することを本検証の目的とする。

### 2 検証の分野

検証は、令和元年台風15号、19号及び21号に伴う大雨における千葉県の災害対応に関する事項とする。なお、主な検証分野を例示すると次のとおりである。

検証分野	検証項目
(1)災害対応体制、本部設置に係る対応	災害対策本部設置前の体制、災害対策本部の設置時期、災害対策本部設置後の対応や体制等
(2)知事（本部長）の動き	知事（本部長）の動向等
(3)情報収集	情報収集の体制、手段、着手時期等
(4)人的支援（業務支援）	被災市町村への業務支援等
(5)物資支援	被災市町村への物資支援等
(6)医療救護	医療救護体制及び活動等
(7)社会福祉施設への支援	社会福祉施設への支援活動等
(8)ライフライン（水道供給）	水道総合調整、応急給水活動等
(9) 風害・水害対策（公共土木施設等）	水防・風害対策・道路啓開活動等
(10)その他	大規模停電への対応等

### 3 検証の視点

- (1) 県地域防災計画、マニュアル、その他各部等の災害対応について定めた計画どおりの対応が取れたか
- (2) これらの計画、マニュアルは、今回の災害に対応しうるものであったか
- (3) 想定を超えた部分について、適切な判断・対応ができたか

### 4 検証の方法

#### (1) 県関係部局庁に対する調査

庁内のプロジェクトチーム（以下、「プロジェクトチーム」という。）により、関係部局庁における対応状況を整理し、対応状況の詳細や背景等について把握のうえ、課題等を洗い出し整理を行う。

#### (2) 市町村へのアンケート

プロジェクトチームは、県内市町村に対するアンケート調査の実施やヒアリング等を行い、市町村の意見等を踏まえ課題や課題解決の方向性などについて検討を行う。

#### (3) 検証会議による検証

令和元年台風15号等災害対応検証会議（以下、「検証会議」という。）は、プロジェクトチームがとりまとめた内容について、職員からの聴き取りや被災した市町村に対する現地調査及びヒアリング等を行い、プロジェクトチームがとりまとめた内容に対して意見を述べる。

プロジェクトチームは検証会議の意見を踏まえ、検証結果をとりまとめる。

11月22日の第1回検証会議においては、検証の進め方、検証項目、解決の方向性について意見や指摘を述べる。

### 5 調査報告

プロジェクトチームは、台風15号等への県の対応に関する評価や課題の洗い出しや分析、課題等に対する今後の対策の方向性などについて、検証会議の意見を踏まえてとりまとめた報告書を作成し公表する。